

お客様各位

2022年 4月 7日
北興化学工業株式会社

変更登録のお知らせ

平素より弊社製品をご愛顧賜り、厚く御礼申し上げます。

此の度、2022年4月6日付で下記農薬の適用が変更登録されましたので、お知らせ致します。

農薬名

第24503号 ホクコーリディアNT箱粒剤

適用拡大の内容

- ・ 作物名「稲」を下表の適用内容で追加する。
- ・ 作物名「稲（箱育苗）」の使用時期「移植当日」を「移植3日前～移植当日」に変更し、適用病害虫名に「フタオビコヤガ」、「イナゴ類」および「イネヒメハモグリバエ」を追加する。
- ・ 作物名「稲（箱育苗）」の使用量に「高密度には種する場合は 1kg/10a（育苗箱（30×60×3cm、使用土壌約5L）1箱当り 50～100g）」を追加する。

【変更後の適用内容（追加・変更部分）】

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	フルピリミンを含む農薬の総使用回数
稲	イネドロオウムシ イネミズゾウムシ	1kg/10a	移植時		側条施用	3回以内 (直播での場合は種時又は移植時までの処理は1回以内、本田では2回以内)
稲 (箱育苗)	ウンカ類 ツマグロヨコバイ イネドロオウムシ イネミズゾウムシ	育苗箱 (30×60×3cm、 使用土壌約5L) 1箱当り50g	は種前	1回	育苗箱の床土に均一に混和する。	3回以内 (移植時までの処理は1回以内、本田では2回以内)
	ニカメイチュウ フタオビコヤガ イナゴ類 イネヒメハモグリバエ		は種時覆土前～移植当日		育苗箱の上から均一に散布する。	
	ガンカ類 ツマグロヨコバイ イネドロオウムシ イネミズゾウムシ ニカメイチュウ フタオビコヤガ イナゴ類 イネヒメハモグリバエ	高密度には種する場合は 1kg/10a (育苗箱 (30×60×3cm、 使用土壌約5L) 1箱当り 50～100g)	移植3日前～移植当日			

次ページに続く

前ページから続く

【注意事項の変更（追加内容）】

- ・ 移植時に使用する場合は、次の注意事項を守ること。
 - ・ 専用の移植同時施薬機を用い、側条施用すること。
 - ・ 移植後は湛水状態（湛水深3～5 cm）を保ち、稲苗が活着するまで田面が露出しないよう水管理に注意すること。
 - ・ 移植後、低温が続き、苗の活着遅延が予測される場合には使用をさけること。

- ・ 育苗箱へ処理する場合は、次の注意事項を守ること。
 - ・ 稲苗の葉がぬれていると、薬剤が付着して薬害を生じる場合もあるので、散布直前の灌水はさけること。
 - ・ 薬剤が育苗箱からこぼれ落ちないように処理を行うこと。
 - ・ 育苗箱（30×60×3cm、使用土壌約 5L）1箱当りに乾籾として200から300g 程度を高密度には種する場合は、10a当りの育苗箱数に応じて、本剤の使用量が1kg/10aまでとなるよう、育苗箱1箱当りの薬量を50から100gまでの範囲で調整すること。

製品情報の詳細は、[こちら\(農薬製品・安全データシート \(SDS\) 一覧\)](#) からご参照下さい。

以上